



GBC-2000

Bluetoothハンズフリーカーキット 取扱説明書

最初に
ご確認ください

セット
内容

●本体	1台
●クリップ	1個
●充電用USBケーブル	1本
●取扱説明書(本書)	1部

※万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

1.はじめに	P.2	9.使用方法	P.9
2.仕様	P.2	10.LED表示について	P.11
3.セット内容	P.3	11.よくある質問	P.11
4.各部の名称と働き	P.4	12.使用上の注意	P.12
5.本製品の充電	P.5	13.安全にご使用いただくために	P.12
6.取付け方法	P.5	14.ご注意	P.13
7.電源のON・OFF	P.6	保証規定	P.14
8.ペアリング	P.7	保証書	

1.はじめに

この度はBluetoothハンズフリーカーキット(**GBC-2000**)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は運転者の乗車を自動感知する人体感知センサーを内蔵し、利便性を考慮して設計されたBluetoothハンズフリーカーキットです。
ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

⚠ 注意 運転中の携帯電話の使用は事故の恐れがあります。

- ・運転中の携帯電話の使用はご遠慮ください。
- ・運転中の携帯電話の使用に関する関連法規をお守りください。

2.仕様

<本体仕様>

通 話 可 能 時 間	最大約28時間
待 機 時 間	通常時:最大約1400時間(58日) スリープ時(運転者を感知していない場合):最大約2年
バッテリー・充電時間	内蔵型リチウムポリマーバッテリー:約2.5時間
センサー感知範囲	角度:80° 距離:1m
スピーカー出力	3W(最大)
使用温度範囲・保管温度範囲	-10℃~50℃・-20℃~60℃
サイズ・重量	W120×D68×H18mm・約80g

<Bluetooth仕様>

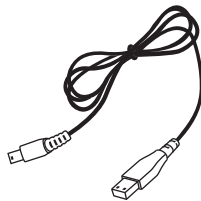
適 合 規 格	Bluetooth Ver.3.0
対 応 プ ロ ファ イ ル	HSP(ヘッドセット)、HFP(ハンズフリー)、A2DP
通 信 距 離	最大10m

※使用時間、センサー範囲、通信距離などは使用機器や使用環境により異なります。

3.セット内容



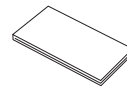
GBC-2000本体



充電用USBケーブル



クリップ



取扱説明書(本書)

4.各部の名称と働き

人体感知センサー

LED

青色:動作中(接続・待機)、充電完了
赤色:バッテリー残量不足、充電中

スピーカー

充電用USBポート

マイク

音量ボタン

「+」:音量を上げる
「-」:音量を下げる

電源スイッチ

マルチ機能ボタン(MFBボタン)

リダイヤル	1回押す
Siriの起動(iOSの場合)	約1秒間長押し(ビップ音がなるまで)
電話に出る(着信時)	1回押す
着信拒否(着信時)	約1秒間長押し(ビップ音がなるまで)

※機種によっては一部機能が使えない場合があります。

5.本製品の充電

付属の充電用USBケーブルで、パソコンのUSBポートに接続します。

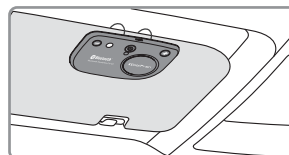


USBポートへ

- ※充電中は赤のLEDが、充電が終わると青のLEDが点灯します。
- ※USB ハブを利用する場合は、低電流のため円滑な充電ができない場合もあります。
- ※ご購入後、初めて使用する場合はバッテリーをフル充電してからご利用ください。

6.取付け方法

本体にクリップを取付け、車のサンバイザーに装着してください。



⚠ 注意

直射日光の当たる所や炎天下の車内など、高温になる場所には放置しないでください。

- ※人体感知センサーがうまく作動できそうな位置に取付けてください。センサーは角度80℃、距離1mの人の動きを感知します。運転者の動きがない場合や車から降りた場合は約3分後、自動的にスリープモードに入り、Bluetooth機器との接続も遮断します。再度動きを感知すると自動的に接続されます。
- ※日光を遮断するためサンバイザーを使用するとき、ハンズフリーはお使いできません。
- ※車種によって感知性能が異なる場合がありますが、できるだけサンバイザーの中央部分に取付けてください。

7.電源のON-OFF

電源スイッチをスライドすると電源のON-OFFができます。



- ※ご購入後、初めて電源を入れると青のLEDが点灯し、ペアリングモードとなります。
- ※電源ON時に人体感知センサーが動きを検知すると自動的に作動を開始します。
- ※動きを検知なくなると、3分後自動的にスリープモードへと切替わります。
- ※通話中、人体感知センサーは作動しません。



- ※長時間使用しない場合は、電源スイッチをOFFにしてください。

6

8.ペアリング

●ご購入後、最初のペアリング



- ①電源を入れると青のLEDが点灯し、ペアリングモードに入ります。
 - ②携帯電話から、それぞれのペアリング操作を行い、本製品を登録してください。
- ※ペアリング操作は各携帯電話の取扱説明書をご参照ください。(例:P.8)
 - ※3分間以内にペアリングが行われないと、ペアリングモードは解除されます。

デバイス名	GBC-2000
パスキー	0000(ゼロ4つ)

●通常のペアリング



- ①電源ONの状態では、「MFBボタン」を約6秒間長押しすると、青のLEDが点灯し、ペアリングモードに入ります。
- ※MFBボタンを約6秒間長押しし、「ピッ」と音が鳴ってから離します。
- ②携帯電話から、それぞれのペアリング操作を行い、本製品を登録してください。
- ※ペアリング操作は各携帯電話の取扱説明書をご参照ください。(例:P.8)
- ※3分間以内にペアリングが行われないと、ペアリングモードは解除されます。

デバイス名	GBC-2000
パスキー	0000(ゼロ4つ)

7

8.ペアリング(続き)

●スマートペアリング

- ※機種によっては、スマートペアリングに対応していない場合があります。



- ①電源を入れ、ペアリングモードの状態では、「MFBボタン」を約1秒間長押しすると、青と赤のLEDが交互に点滅します。
- ②使用するスマートフォンの「設定」→「Bluetooth」→「デバイスを表示する※」にチェックを入れます。
- ※機種によって表記は異なります。
- ③スマートペアリングに対応した機種の場合、本体の10cm以内に機器を置くだけで自動的に「Bluetoothペアリングの要求」になります。「OK」を選択してペアリングを完了します。
- ※ペアリングをしないまま40秒程経過するとスマートペアリングのモードは解除され、通常のペアリングモードになります。

例)携帯電話側のペアリング操作

- ※事前に本製品をペアリングモード(LED:青色点灯)にしてください。
- ①携帯電話のBluetooth機能を選択します。
- ②周辺のBluetooth機器を検索します。
- ③「GBC-2000」を選択します。
- ④パスキー(0000)を入力します。
- ※パスキーを求められない場合もあります。
- ⑤接続開始します。本製品のLEDが青色に5回点滅します。
- ⑥認識されると、接続完了です。本製品のLEDは3秒ごとに点滅します。
- ※接続するサービスを聞かれた場合は「ハンズフリー(HFP)」を選択してください。

●マルチポイント

- 本製品には最大8台のBluetooth機器を登録可能です。そのうち、2台までを同時に使用することができます。
- ※P.7を参照し、使用する複数の機器のペアリングを行ってください。
- ※2台同時使用中に、使用する機器を変更する場合は、接続している機器との接続を解除してください。
- <2台の携帯電話を接続する場合>
- ①P.7を参照し、1台目の携帯電話とペアリング・接続した後、本製品の電源を一旦切ります。
- ②再び本製品の電源を入れ、1台目と同様に2台目の携帯電話とペアリング・接続を行ってください。
- ③再度本製品の電源を切り、もう一度電源を入れ直すと、2台の携帯電話と接続ができ、同時待受けが可能になります。

●機器との接続

- 本製品の電源を入れると、最後に接続していた機器と自動的に接続します。
- スリープモードから復帰した場合も同様に、最後に接続していた機器と自動的に接続します。
- ※ペアリングの登録が完了しているのに、自動的に接続されない場合、「MFBボタン」を押すと接続されます。

8

9.使用方法



- ※事前にペアリング・接続を完了させてください。
- ※機種により、一部の機能を使えない場合もあります。
- ※携帯電話からの操作については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話で通話するには「ハンズフリー (HFP)」で接続してください。
音楽やフンセグの音声を聴くには「オーディオ (A2DP)」で接続してください。
※同時に両方を接続することもできます。

- 携帯電話に着信があると、スピーカーから呼び出し音が鳴ります。
- ※音楽を聴いている場合、通話終了後に自動的に音楽に戻ります。

▲ 本製品 (GBC-2000) 側では音楽の再生/停止・曲送り/曲戻しなどの操作はできません。

9

- 電話に出る
着信中、「MFBボタン」を押します。
※携帯電話に着信があると、スピーカーから呼び出し音が鳴ります。
※携帯電話からも着信音を鳴らしたい場合はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

- 電話を切る
通話中、「MFBボタン」を押します。

- 電話をかける
携帯電話から電話をかけると、自動的に本製品に切替わるものもあります。
※機種や設定によって自動的に切替わらない場合があります。その場合は、Bluetooth機器を優先するように設定を変更するか、通話開始後に携帯電話側で切替えてください。または通話開始後に「MFBボタン」もしくは「音量ボタン」を押すと切替わります。(この場合、時間がかかる場合があります)

9.使用方法 (続き)

- 着信拒否
着信中、「MFBボタン」を長押しし、ピープ音が鳴ったらはなします。
※音声メッセージが流れるか、留守番サービスへ転送されます。
- 通話の切替え (携帯電話 ↔ 本製品)
通話中、携帯電話側で切替えてください。
<Bluetooth通話切替え方法 (通話中携帯電話側から)>

docomo …… 通話中に、「受話器上げボタン」を1秒以上押す。(P-01A取説より)

SoftBank …「メールボタン」(通話中メニューボタン) → 「音声切替え」選択 → 「本体/Bluetooth」選択 (912SH取説より)

au …………… 通話中に「Ez」ボタンを押すと、本体とスピーカーの切替えができます。
(W63SA取説より)
- 音声ダイヤル機能
「MFBボタン」を長押しし、ピープ音が鳴ったらはなして、音声ダイヤルを行ってください。
※音声ダイヤル機能をサポートしている携帯電話のみ使用可能です。

- リダイヤル
「MFBボタン」を押すと、最後に発信した番号に発信します。
※機種によっては使えない場合があります。
- 音量調節
「音量ボタン」でスピーカーの音量を調節できます。
- マイク消音
通話中、「音量ボタン」(+または-)を約1秒間長押しします。
※もう一度「音量ボタン」(+または-)を約1秒間長押しすると解除されます。
※マイク消音中は5秒ごとにピープ音が鳴ります。
- LED表示のON-OFF
音量ボタンの「+」と「-」を同時に約1秒間長押しすると、「ビッ」と音が鳴りLEDが消灯します。
※LEDがOFFの状態でも、着信中、電源のON-OFFなどの時にはLEDは点灯します。
※電源をOFFにすると、自動的に解除されます。
- 初期化 (工場出荷時の状態に戻す)
電源をONにして、音量ボタン「+」→音量ボタン「-」→音量ボタン「+」→音量ボタン「-」→「MFBボタン」の順でボタンを押すと、本製品が再起動され、赤と青のLEDが同時に点灯します。電源をOFFにすれば初期化は完了です。

10

10.LED表示について

通 話 中	約8秒ごとに青色のLEDが点滅
待 機 中	約3秒ごとに青色のLEDが点滅
音 楽 再 生 中	約3秒ごとに青色のLEDが点滅
バッテリー残量低下	赤色のLEDが点滅
充 電 中	青色のLEDが点灯
充 電 完 了	青色のLEDが点灯
ペアリングモード	青色のLEDが点灯
スマートペアリング	青と赤のLEDが交互に点滅

11

11.よくある質問

- Q. ノイズが聞こえる。
A. 本製品と携帯電話をできるだけ近づけてください。
- Q. 何も聞こえない。
A. 1. 本製品の音量を調節してください。
2. 正常にペアリング登録が完了しているか確認してください。
3. 正常に接続されているか確認してください。
※再度ペアリング登録・接続を行ってください。(P.7～8をご参照ください)
- Q. ペアリングができない。
A. 一旦、携帯電話に登録されている機器リストから本製品 (GBC-2000) を削除してから、再度ペアリングを行ってください。(P.7～8をご参照ください)
- Q. 使うたびにペアリング作業をする必要がありますか?
A. いいえ。基本的には初回だけです。電源を切っても、ペアリングの設定は残りますが、途中、他の機器で使用した場合は再度ペアリング・接続をする必要がある場合があります。

- Q. どんな機器が接続できますか?
A. Bluetooth Ver. 1.1/1.2/2.0/2.1+EDRの規格に適合し、HSPまたはHFPのプロファイルに対応した携帯電話や機器と接続可能です。

ノイズや接続状態について
車内など使用する環境の音が大きいと、本製品の性能に影響がある場合があります。

12. 使用上のご注意

- 長時間使用しない場合は、電源をOFFにしてください。
- 本製品を高温または低温となる場所、湿度の高い場所、ホコリの多い場所で使用・保管しないでください。
- 高温や低温での長時間の保管は製品の誤作動や性能低下の原因となり、バッテリー寿命が短くなる場合があります。
- 本製品を水中や水のかかる場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 必ずUSB電源(DC 5V)で充電してください。

13. 安全にご使用いただくために

- 運転者は走行中に絶対に操作しないでください。交通事故の原因になります。
- 使用する前に音量を最小にしてください。突然大きな音がすると、聴力を損なう恐れがあります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 内部に燃えやすいものや水などの液体がかかった場合は、使用を中止し、お買い上げいただいた販売店または弊社にご相談ください。そのままご使用になりますと、火災や故障および感電事故の原因になります。
- 内部を開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部には絶対に触れないでください。また、内部を改造した場合の性能劣化については保証いたしません。
- 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。
- 小さいお子様には使用させないでください。

14. ご注意

- 本製品を使用したことによって生じた障害や損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合には、弊社は一切の責任を負いません。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では使用しないでください。
- 高い安全性や信頼性が要求される機器や電算機システムなどと直接的または間接的に関わるシステムでは使用しないでください。
- 飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。
- 必要以上に長時間の充電はしないでください。
- 電池(内蔵型リチウムポリマーバッテリー)は使用状況によって異なりますが、約300～400回繰り返し充電できます。十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご使用いただけない場合は、電池の寿命です。弊社では電池の交換を行っておりませんが、新しい製品をお買い求めください。

- 電池(内蔵型リチウムポリマーバッテリー)は消耗品ですので、保証の対象にはなりません。
- 充電が終わったら必ずケーブルを外してください。また、十分な充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は充電を終えてください。所定の充電時間を超えて充電した場合、電池が発熱・発火する危険性があります。
- 本製品を使用中に発生したデータの消失、機器の故障などの保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

■ Bluetoothについて

- 本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器等のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されてないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発射を停止してください。

14. ご注意(続き)

■ 良好な通信を行うために

- 他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体(接触した状態)などを挟むと、雑音が入ったり通信不能場合があります。
- Bluetooth対応のヘッドホン・ヘッドセット・スピーカーなどの音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続し使用した場合、音楽や音声が途切れることがあります。
- Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻りに途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。
- IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書

型番		GBC-2000
お客様	お名前	
	ご住所	〒 TEL
販売店	販売店名・住所・TEL	
	担当者名	
保証期間 6ヶ月 お買い上げ年月日 年 月 日		



サンワサプライ株式会社

サンワダイレクト / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-5680 FAX.086-235-2381
BE/AC/TTDaKo